

身近だと知らない? クリーン原町センター

ワシは、クリーン原町センターじゃ。

昭和63年3月、旧原町市に生まれ、今年の3月で35歳を迎えたんじゃよ。皆さんの年齢に例えると70歳くらいかのお。

いつもごみを分別してくれてありがとう!

ワシは、皆さんから出された家庭ごみをほぼ毎日処理(焼却)しているんじゃ。

燃えるごみの中には、資源として再使用できる紙類も多くて、もったいないのお。

きちんと分別できれば焼却されず温室効果ガスも削減されるのに・・・。

平成27年から平成30年にかけて、健康診断をしてもらって、ところどころ基幹的設備改良工事という治療をしたんじゃ。

お陰様で今は元気じゃよ。

草木や水分を多く含んだ食べ物の残りもの、分別されなかった金属類の燃えないごみなど、焼却するのが苦手なものもあるんじゃ。

水分が多いと、焼却するために沢山の燃料を使ってしまうんじゃ。

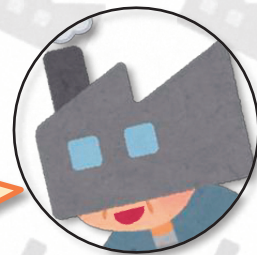


● クリーン原町センターにいろいろ聞いてみよう！



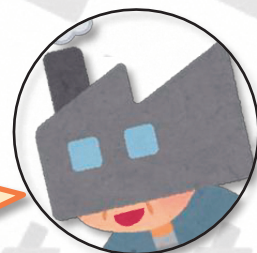
一日にどれくらい働いているの？

実は24時間休まず働いているよ。
まだまだ現役じゃ！



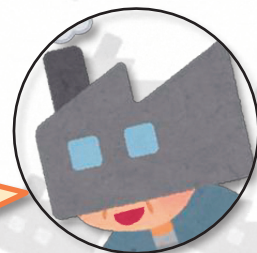
スタッフさんは何人くらい
いるんですか？

だいたい20人のスタッフに見守って
もらっているんじゃよ。



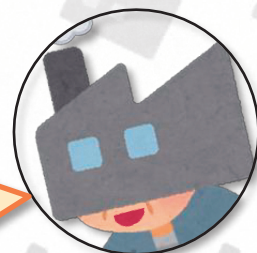
一日にどれくらいのごみを
燃やせるの？

二つの焼却炉で最大100トンのごみを
燃やせるんじゃ。想像できるかのう？



クリーン原町センターを見に
行きたいなあ。

大歓迎じゃ！ただし準備があるから事前に
クリーン原町センター（24-0063）
に電話で予約をしてもらえるかのう。



クリーン原町センターが長生きできるよう、3Rに取り組もう！

- ◆生ごみの水分を切ろう！（Reduce(リデュース)：ごみを減らす）
⇒ 水分量が減ると、ごみ焼却に必要な燃料を減らせます。
- ◆まだ使える不要品は、リサイクルショップやフリーマーケットアプリなどに
出してみよう！（Reuse(リユース)：再利用）
⇒ 必要としている人の手に渡れば、ごみになりません。
- ◆ごみの分別をマスターしよう！（Recycle(リサイクル)：再生利用）
⇒ 正しい分別はリサイクルの第一歩でもあります。